



自慢の野菜を抱える代表取締役の山岸氏

経営概要

◆ 代表者、所在地

代表取締役 山岸隆之、群馬県吾妻郡中之条町

◆ 設立年

令和5年2月

◆ 経営規模

野菜（ハクサイ等）11ha

◆ 従業員数

役員1名、正社員1名、パート・アルバイト1名

◆ 事業内容

露地栽培を中心とした大型野菜の生産や育苗ハウスを活用した軟弱野菜の生産に取り組む。

1 現状及び相談内容

山岸氏は2年間農家で働きながら技術を身に付け、令和元年に独立就農した。**儲かる農業の確立を目指して規模拡大し、4年間で就農時の2.5haから11haまで経営面積を増やした。**

経営規模に応じた人材確保を進めるため、法人化に取り組むことにしたものの、安定性の高い経営計画作りや人材の確保・定着に必要な就業体制整備、労務環境の改善が課題だった。

3 人材の確保・育成に資する取組

★新規就農者を確保するために、町や県が主催する研修会に積極的に参加し自身の経験を発信するなど、精力的な活動を実施

■ 就農希望者に向けた情報

山岸氏は地元の農業高校を卒業した後も、出身高校との交流を続けており、教員、卒業生、在校生などの人脈を最大限に活用し、優秀な人材を正社員として雇用した。

また、**町や県が主催する新規就農者を呼び込む取組に参加する**など、機会があるごとに、自らの就農体験や従業員と経営者のそれぞれの心がけについて、就農希望者や関係機関の職員へ情報発信している。

■ OJTによる人材育成

正社員には、持てる技術を伝えつつ、本人の理解度を確認しながら仕事を任せると、丁寧に育成指導している。

また、栽培や販売の情報を共有し、次の展開について正社員の考えを聞く機会を設け、人材育成を進めている。

今後の意気込み

儲かる農業を目指し、規模拡大と一年を通じた安定出荷を進めています。法人化し、今後も正社員を増やし、加工や販売などの事業の多角化にも挑戦していきたいです。

2 支援内容

普及指導センターが中心となり群馬県農業経営・就農支援センターの専門家とも連携し、将来的な規模拡大や経営発展に向けた課題分析及び課題解決に向けた取組計画の策定等に対して助言を行った。

また、人材確保と定着に向け、就業規則の策定や労務環境の改善などに関する助言を行った。

■ 人材の定着に向けた労務環境改善

山岸氏はこれまで休日もなく働いてきたが、正社員を雇用するにあたり、**就業規則を整備し、始業時間と終業時間を定め、自らの働き方も含めて見直しを行った。**

正社員の雇用は初めてだが、規模拡大に応じて徐々に従業員を増やしていく予定であり、**従業員と話し合いながらより良い労務環境づくりを進めること**としている。



頼りがいある正社員と共に

専属スタッフ所感

新規就農者ですが、本人の努力と周囲のサポートがあり、栽培技術はしっかりしています。雇用と人材活用の経験を重ねることで、今後ますますの経営発展が期待されます。